

協働のまちづくり

広げよう市民活動のわ

～鳥羽の海、きれいですか??～

vol.2



巧みにボートを操る上田さん

たくさんの観光客をお迎えするわたしたちの住むまち、鳥羽。しかし、その観光資源である海に目をやると、たくさんのごみが浮かんでいます。

そんな光景を見て、「鳥羽に訪れた観光客に、こんな海を見せるのは恥ずかしい。鳥羽がもったいない!」という熱い思いから立ち上がった人たちがいます。

今回は、そのような活動を続けられている市民活動団体「はなゆき」の上田功さんにお話を伺いました。

市民課人権・生活係 ☎1141

Q この活動を始めたきっかけを教えてください

A 兼ねてから観光都市鳥羽の宝である海に、たくさんのごみが浮かんでいるのが気になっていました。

現職時代は、海での仕事をしていたため、何か自分のできることを…と思い、仲間を誘って海に出たのがきっかけです。

Q どのような活動を行っているのですか?

A 土曜・日曜日の観光客を迎えたあとの毎週月曜日を活動日とし、中之郷からボートを出航させ、観光客の目に止まりやすい佐田浜・小浜・イルカ島・安楽島橋周辺を回って船上からゴミを回収します。

活動は午後1時から始め、大体3時頃終了しますが、ごみが多いときなどは、4時頃までかかることもあります。集めたごみは、市の環境課が引き取って事後の処理をしてくれます。

よく、活動を見かけた人などからも、「なぜ、そんなことをしているの?」と聞かれますが、「なぜって?そこにごみがあるでしょう?あなたも、自分の家のごみは拾うでしょう?」と逆に問いかけます。

Q 平成17年から活動を始め

られて、今年で7年目になりますが、活動を長く続ける秘訣は何ですか?

A 活動を始めた当初から、10年を区切りと考えていません。そんな中でも長く続けているのは、「型にとらわれないこと」だと思います。

決まり事などにとらわれず、自由に活動を行うことで、楽しく活発にここまで続けることができたように思います。

Q 活動の目標を教えてください

A ごみのない美しい海にすることはもちろんですが、わたしたちの活動を見て、同じような活動をする人が増えてくれれば嬉しいです。

鳥羽には、使われていない船がたくさんあります。団体の船「はなゆき」も、廃棄寸前の船を修理したものです。



するどい眼差しで、はるか遠くのごみも逃がしません

また、船を動かせる人もたくさんいます。そんな人たちが集まって活動ができれば、鳥羽の海をもっと美しくすることができそうです。

Q 最後にひとこと:

A ごみを無くすことは難しいですが、活動を始めた頃と比べると、鳥羽の海は綺麗になったと思います。船を動かさなければ、岸壁や周辺のごみを拾ってくれるだけでもいいんです。それも難しければ、せめてごみを棄てないでください。そういった気持ちが続いていくことで、鳥羽の海はもっと美しくなるはず。鳥羽の海の輝きを大切に思っています

市民活動団体「はなゆき」について、もっとくわしく知りたいかたは、市ホームページ <http://www.city.toba.nie.jp> をご覧くださいか、市民課人権生活係へ問い合わせください。



鳥羽の海の輝きを大切に思っています